

第8期『耕人塾』を振り返って

今年度の第8期『耕人塾』も多くの方々のお陰で、13回の活動を充実した内容で終わることができました。特に今年度は、司会進行やプロジェクトKの「挨拶・清掃・ゴミ拾い」活動への積極的な参加など、塾生の主体的な活動が多く見られました。「キボッチャ」での宿泊研修では大高森からの夕日に感動し、次の日の刺し網体験ではワタリガニを網から外すのを漁師の方に教えられたことも貴重な体験でした。プロジェクトIでは、『耕人塾』での定期的な活動の他に各自の自主活動が閉塾式で発表されることになっており、大変楽しみです。

さて、今年度の『耕人塾』のコンセプトは「主体・楽しさ・創造」です。塾生の皆さんが新しいことに挑戦して頑張っているのも、塾長である私も新たな挑戦をすることにしました。閉塾式で報告することにしていましたのでその結果を3つ述べます。

塾長の「新たな挑戦」報告

- ① 「主体」自宅周辺のゴミを1万個拾う：1月から曾波神周辺を散歩しながらゴミを拾うことにしました。数ヶ月間はほぼ毎朝、日の出前に4、50分実施していましたが、ゴミが少なくなってきたので、その後は週に2、3回に減らし、散歩コースを5コースにしました。曾波神山一周の時は、旧北上川の悠々とした流れやトヤケ森山（通称馬っこ山）からの日の出は清々しい気分させてくれます。1年間で拾ったゴミは11月末で10,870個になり、目標を達成することができました。自分で決めたことなので、これからも淡々と続けていきます。
- ② 「楽しさ」50冊の本を読む：月刊誌「致知」は年12冊、その他文庫本や単行本など38冊読破を目標にしました。11月末までに30冊なので、あと1ヶ月で8冊は無理かも知れませんが、達成率は85%ぐらいになりそうです。でも、ちょっと時間があつたときに本を読むのがとても楽しみです。来年も50冊読破に挑戦したいと思っています。
- ③ 「創造」河北美術展で入賞する：河北美術展（彫刻の部）に7回入選していますが、入賞したことはありません。今年に入賞を目標に心を込めて彫りましたが入選止まりでした。石巻市美術展では創造的な抽象で最高賞を目指しましたが入賞止まりでした。達成率の自己評価は50%です。来年こそは新たな創造をしたいと構想を練っています。

『耕人塾』での多くの出会いが私の財産になっています。それぞれの塾生が1年間の活動を通して成長する姿に感動しています。また、運営委員・教学委員・協力員・サポーターとの出会いやその働きに勇気づけられています。来年度は第9期を迎えます。塾生の皆さんには是非継続して参加していただき、他団体とも連携しながら大きなうねりにつなげ、「世界に誇れる石巻地域」にしていきたいと思っています。1年間、支えていただいた多くの方々に感謝申し上げます。

「清掃ボランティアに感謝」

河北新報R元11/21の「小中校生の意見」欄に「清掃ボランティアに感謝」（桜坂高3年・生出友佳さん）が載っていたので要約を紹介します。「私が感謝したいのは清掃ボランティアだ。

1日の夜の10時過ぎまで人通りが絶えず、道路にはゴミがあふれかえっているのを目にした方は多いだろうそれが翌日にはいつもと変わらないきれいな石巻に戻っているのだ。不思議に思い地元の方々に聞いてみると、清掃ボランティアの方々が朝早くからゴミの回収をしているのだという。私は申し訳ない気持ちと尊敬の気持ちで胸がいっぱいになった。だが、直接感謝の言葉を伝える手段はなく、今まで胸に残っていた。この場を借りて伝えたい。石巻をきれいにしてくれてありがとう。来年の川開きに私も力になりたい。少しでもボランティアの負担が減るよう、周囲にも呼びかけたい。』『耕人塾』での皆さんの活動が市民の方々に伝わっているのですね。